

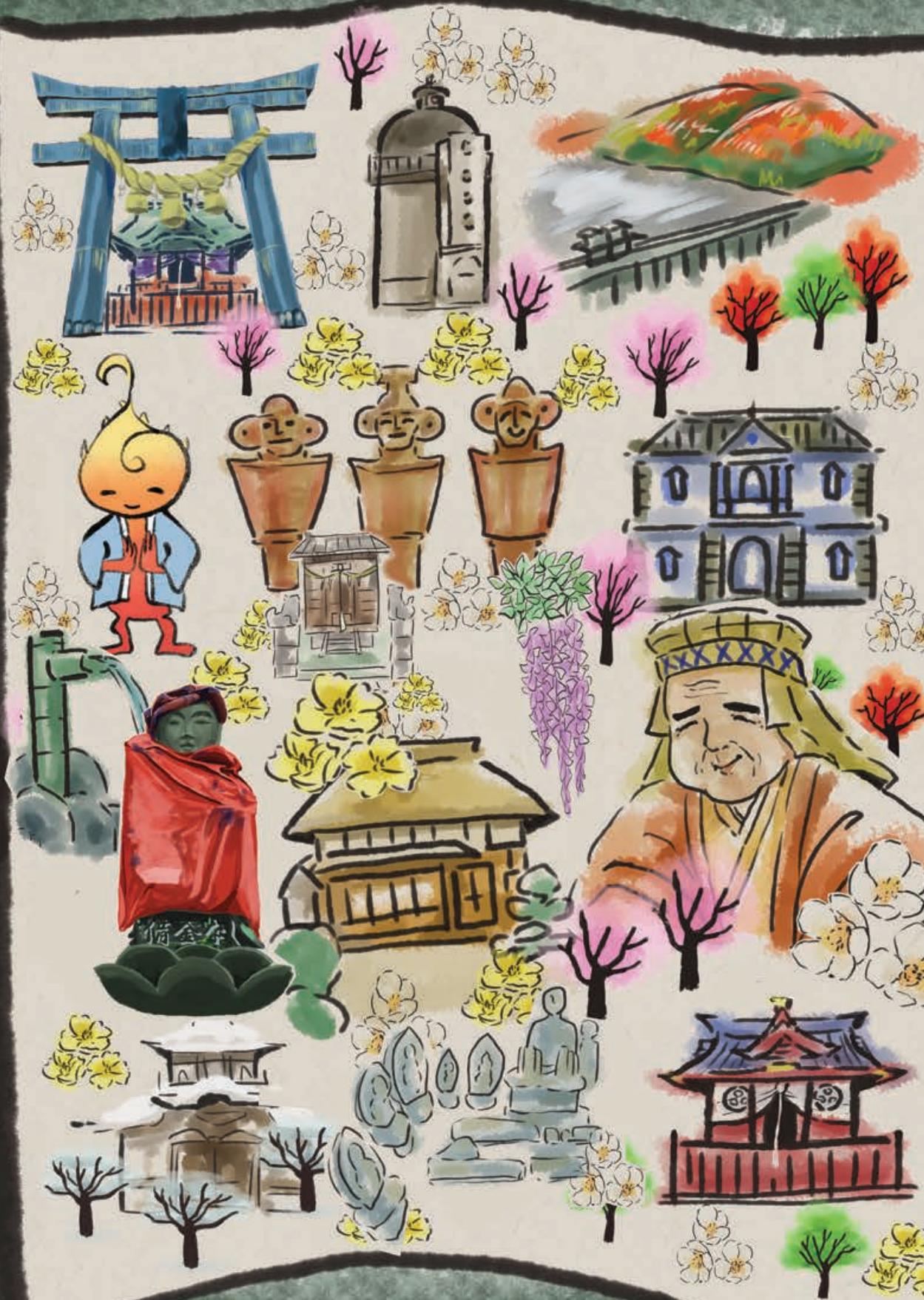


まちの駅全国フォーラム in 本庄

第17回 まちの駅全国大会

2014

10月31日(金) 11月1日(土)



ご利益ある田
まいじょう



目 次

1. 大会趣旨
2. プログラム
3. 物産展示販売
ランチミーティング
4. 会場案内図
5. フォーラム「まちの駅一座」
6. ワールド・カフェ
7. 前回大会の報告

主催／全国まちの駅連絡協議会 まちの駅ネットワーク本庄実行委員会

共催／本庄市、本庄市商工会議所

後援／総務省、観光庁、埼玉県、公益財団法人本庄早稲田国際リサーチパーク、

本庄市私立保育園長会

NPO 法人地域交流センター（全国まちの駅連絡協議会事務局）

〒101-0031 東京都千代田区東神田 1-7-10 KI ビル 3 階

TEL : 03-5823-4190 FAX : 03-5823-4191

祝　辞

埼玉県知事
上田 清司



第17回まちの駅全国フォーラムが、埼玉県本庄市において盛大に開催されることをお喜び申し上げますとともに、全国各地からお集まりいただいた皆様を、心から歓迎いたします。

全国では、約1600の「まちの駅」が、ちょっと休憩のできるまちの案内所、地域の人々や訪れた人々との交流の場として活用されています。既存の施設を利用し、おもてなしをすることを基本理念として、誰もがどこにでも設置できるため、こちら本庄市では市役所や商工会議所、商工会もまちの駅になっています。このように多様な主体が趣旨に賛同して、まちのコミュニティの拠点としての活動を行っています。

私は人口減少と少子高齢化が進み、都市化とともに地域のつながりが弱くなった現在の社会にこそ、「共助」が必要だと考えています。このため、埼玉県では地域の高齢者の困りごとをボランティアとして地域の住民が手助けする「地域支え合いの仕組み」や自治会などが中心となりパトロール活動を行う「わがまち防犯隊」の拡大などに取り組んでいます。私は、これらの取組ばかりでなく、様々な形で助け合うことができる「日本一の共助県づくり」を進めていく所存です。

皆様が取り組まれているまちの駅の活動は、私が進める共助の取組にまさに合致するものであり、大変心強く思っております。また、新たな地域のコミュニティやネットワークづくりに大きく貢献するものであり、大変意義深い活動です。全国で活動されている皆様がこのフォーラムでの討議を通じて、様々な情報や意見を交換し、学び合い、まちの駅の理念である「交流」と「連携」をさらに深めていただくことを期待しています。

終わりに、御参会の皆様の御健勝、御多幸とともにまちの駅のネットワークがますます発展し、全国至る所にまちの駅が設置され、それぞれの地域の活性化やコミュニティづくりに寄与することを切に祈念申し上げます。

まちの駅全国フォーラム in本庄に寄せて

全国まちの駅連絡協議会会長 見附市 市長
久住 時男



今年で17回目となるまちの駅全国フォーラムが、埼玉県本庄市で開催されますことを心よりお祝い申し上げるとともに、準備・運営に当たられた関係各位に感謝申し上げます。

まちの駅ネットワーク本庄は、平成21年度地域づくり総務大臣表彰を受賞されるなど、まちの駅の中でも最も活動的なネットワークの1つです。以前から本庄市での開催を望む声がありました、ようやく実現の運びとなりました。前回の福島大会での本庄の方々との乾杯が、今日に結びついたと言えるかもしれません。日頃より精力的に活動されています本庄の皆さまの思いを、この大会で拝見できることを本当に楽しみにしております。

日本は、これまでにない超高齢化と人口減少化が進み、社会のカタチが変わろうとしています。そうした中、まちの駅という人々の交流の場、つながりの仕組みは、地域社会の自立に向けてますます重要になっていくと考えております。

昨年は日本中で「おもてなし」が話題となりましたが、まちの駅では、発足当初から「おもてなし」の精神を大切にしてきました。今回の本庄大会は、これまでの全国フォーラムとはひと味違ったものになると聞いています。阿奈代表を初め

とした大会関係者の並々ならぬ意気込み、そして「おもてなし」の心がひしひしと伝わってきます。新しいことにチャレンジすることは勇気のいることですが、それを成し遂げようという思いが、団結力を強くし、まちの駅を活性化させることにもつながります。私たちもこうした取り組みを参考として、本庄市でたくさんの刺激をもらって帰りたいと思っております。

また、埼玉県内では本庄市以外のまちの駅は数えるほどしかありません。本大会を機に埼玉県内にたくさんの「まちの駅」が増えることも期待しております。

2日間、多くの方による知恵と情熱と元気の交換が行われ、思い出深い本庄での大会となることを祈念致します。

祝　辞

本庄市 市長
吉田 信解



全国まちの駅の皆様、本庄市へおいでいただきまして心より歓迎申し上げます。

このたび、第17回まちの駅全国大会が、多くの皆様方のご参加のもと盛大に開催されますことからお喜び申し上げます。

本市は、江戸時代に中山道最大の宿場町として繁栄し、「群書類従」で有名な盲目の国学者塙保己一生誕の地であります。豊かな水と肥沃な大地に恵まれ、花とブランド野菜の一大生産地です。また、世界文化遺産に登録された、「富岡製糸場と絹産業遺産群」とも深い関係にあり、近代日本の養蚕業の進展に大きな役割を果たした「競進社模範蚕室」(埼玉県指定文化財)や、明治時代には全国有数の繭の集散地として栄えた本市と繭の生産拠点であった本市周辺地域の面影を今に伝える「旧本庄商業銀行煉瓦倉庫(銀行が融資の担保として大量の繭を保管した倉庫)」(国登録指定文化財)など貴重な建造物があります。こうしたブランド野菜や観光資源などを全国にPRするため、本市で出土した笑う盾持人物埴輪がモチーフの本庄市マスコット「はにぽん」も市民の皆様とともに頑張っています。

本市では、まちづくりの将来像を、「あなたが活かす、みんなで育む、安全と安心のまち本庄～世のため、後のため～」と定め、本市の偉人塙保己一の遺したことば「世のため、後のため」を基本として、市民が積極的にまちづくりに参画し、地域を支えるまちづくりを進めています。

本市のまちの駅は、平成18年度に「まちの駅ネットワーク本庄」が設立され、現在市内全域で60の駅が連携して、地域の交流拠点となり活動を行なっていただいている、まちの駅を通じた地域コミュニティづくりは大変意味のある活動であると思います。今回のフォーラムでは、全国各地のまちの駅の皆様が一堂に会して、お互いの実践活動を学び合い、交流・連携を深め、さらには、各地域での魅力を高める取組みの一層の推進につなげていただければと期待しています。結びにあたり、全国各まちの駅のますますの発展を祈念して祝辞とさせていただきます。

まちの駅全国大会に 寄せて

地域活性化センター理事長

椎川 忍



出典「毎日フォーラム2012年1月号」より

今回の第17回まちの駅全国大会が本庄市で盛大に開催されることを心からお喜び申し上げます。

私がまちの駅の取り組みを知ったのは7、8年前のことになります。話を聞いた瞬間にすばらしい取り組みだと直感し、地域づくり総務大臣表彰にも推薦させていただきました。おもてなしの心をもって既存の店舗や施設を有効活用する。ハードが先にあるわけですが、それが地域の方々の暖かい思いと熱意で生まれ変わり、すばらしいソフトが再装備されるのです。

今は、地域住民を巻き込んだソフトな利用計画づくりから入るハード整備が当たり前になりましたが、地域にはまだまだ使える既存施設がたくさんあり、お金をかけないでそれらに新しい命を吹き込むことも大切なことです。

数年前に商店街の再生に関わったとき、「長年かけてお客様が来なくなってしまったのに、いきなりものが売れる商店街にしようというのは無理な話だ。まずはお客様が来て楽しい街にしなければいけない」と言われた商店主の方がいました。その商店街は、空き店舗を活用して、子育てをするお母さんたちが運営し子育てママ

たちのたまり場になるカフェをつくりたり、子どもたちがいくら障子を破ってもいいようにボロ屋遊び場にしてそこに駄菓子屋を併設したり、廃業した百貨店を自分たちで改造してスタジオをつくりたりして、賑わいの創出に成功しました。

観光客やまち歩きをするお客様が、気持ちよく立ち寄れる場所、情報を入手できたり、トイレを借りたり、時にはお茶の接待を受けたりできるまちの駅。それが、それぞれの工夫とおもてなしの気持ちでたくさんできてくるまちは、きっと多くの人にとって居心地のいい場所、再び訪れたい所となるでしょう。

このような、既存施設の有効利用と暖かいご接待の気持ちにあふれるまちをぜひ全国にたくさんつくっていきたいものです。

最後に、今大会にお集まりの皆さんのが意義な情報交換と、そこから生まれる新たな知恵やイノベーションに大いに期待して、私の祝辞とさせていただきます。

祝　辞



本庄商工会議所 会頭
真下 恵司

第17回まちの駅全国フォーラムIN本庄の開催、おめでとうございます。

9年前本庄商工会議所、と本庄の「まちの駅」設立有志とで立ちあげた、「まちの駅」。全国の「まちの駅」のモデルとなるような地域再生とこれから生き残る方策と道程をこの全国大会で示してほしいと思います。

「まちの駅」の形態はオーダーメイド。民間企業、一般市民、そして公的機関が共同して「まちの駅」となりひとつのNPO法人として活躍している珍しい団体です。

本庄商工会議所の駅名は「情報受発信の駅」です。いろいろな情報の橋渡しをし、不足している情報と、情報を結びつけるのが役目、究極の「地域密着型」です。地域住民や来訪者に、情報を提供する人と人の交流を促進する拠点が「まちの駅」。まさに商工会議所の事業の一環です。

今回の、全国大会は本庄商工会議所の重点事業として取り上げ、全面協力をさせていただきました。

小さな活動の積み重ねでまちづくりを考え、人と人とのご縁を大切に、来訪者にはおもてなしの心で温かく迎えいれ継を深めていく。

本庄にある各企業が「まちの駅」の心を忘れずに、それぞれが、それぞれの活動をしておりますが、横に手をつなぎあい企画、イベントなどをかたまりで行動していくことにより無駄がなく、人材も発掘することができ費用も最少ですみ、効果の上がるものとなるはずです。

人の力はまちのチカラ、住んでよかったです、住み良いまちづくりを目指して、まちの駅の情報発信力を生かし更なる発展をご期待いたします。

歓迎のご挨拶

NPO法人まちの駅ネットワーク本庄
代表 阿奈 正子



本日は、多くのご来賓の方々、北海道から沖縄まで全国まちの駅、各地より町おこしに興味をお持ちの方々、そして、地元本庄市から、たくさんの皆様にご参加をいただきましたことを、心から歓迎申し上げます。

「てえ～！ そうなん！ 本庄へ来なよ！」と本庄弁で皆様へお声掛けいたしました。

まちづくりに関心のある方なら、どなたでも参加できます。

「まちの駅」とは、加入したら、すぐに商売の売り上げに結びつく、というわけではございません。人と人との結びつき、たまり場としての「まちの駅」の機能、メリットを考えたとき「心のメリット」を得ることができたら「まちの駅」の仲間になつた意味があるのではないかと思います。

地域全体の魅力を高め、官民が一体となり、既存の施設、空間を自発的に開放する活動を行っております。

全国では1600箇所以上の「まちの駅」の取り組みが進められております。

中山道一の宿場町として知られている本庄市では平成18年より31の駅からスタートし、現在60箇所がネットワークを組んでおります。

本庄の町をぐるりと見回し探っていくと、なんと、素晴らしい「ご利益のある町」を発見！ 「本庄市の観光交流」を考え、これをきっかけに「ご利益のある町ほんじょう」を立ち上げました。キャラクター（非公認）も、「叶う君」と名付け皆様に親しまれるものに育てていきたいと思います。

今回の全国大会は毎年のパターンを崩し、記念講演会の代わりに「まちの駅一座」なるものを立ち上げ、「まちの駅」の基本を考えるような内容の演劇をいたします。

難しい課題に挑戦いたします。素人芝居ですが、どんな展開になるか、心配でもあり、楽しみでもあります。

3年先、5年先に、本庄の「まちの駅」の全国大会がユニークだったと思い出していただけましたら幸甚でございます。

1. 大会趣旨

開催趣旨

「まちの駅」は“まちの案内所”“地域の茶飲み場”として、既存の施設・空間（公共施設・民間商店等）を自発的に開放する活動で、平成10年からスタートしました。各地の「まちの駅」では、“郷土愛”をもった駅長・駅員が、地域の人や来訪者を“もてなしの心”で迎えるとともに、地域の魅力を発信しています。“駅”のネットワークにより、地域全体の魅力を高めていこうという動きとともに、全国各地でまちの駅同士の交流・連携も進められています。

全国フォーラムは、そうした全国各地のまちの駅仲間が一堂に会して、それぞれの取り組みを紹介しあったり、課題と一緒に考え個々の地域に持ち帰り、実験・反映する場として、毎年開催しているものです。

今大会のねらい

- ① まちの駅各地の取組みを全国、埼玉県内の方々にPRし、認知度向上を図る。
- ② 秩父市や熊谷市等にまちの駅の新規設置を促すキッカケとする。
- ③ これからまちづくりに向けて、まちの駅の可能性を検討する。
- ④ お互いの実践活動から学び合い、自分たちの活動に活かす知恵の交換の場とする。
- ⑤ 全国からの来訪者、参加者に本庄の特徴・よさを知ってもらう。
- ⑥ 本庄市内に存立するまちおこし、まちづくりを志向する団体に声がけし交流を深める。

※まちの駅ネットワーク本庄は、2007年に発足しました。

2. プログラム

～1日目～

10/31 (金)

【会場：本庄市民文化会館】

11:20～11:50 全国まちの駅連絡協議会 総会

12:00～13:15 ランチミーティング

12:00～16:30 物産展示販売

全体会

<一般公開>

13:30～16:00 開会・挨拶

フォーラム「まちの駅一座」

詳細は13頁参照

討議

16:10～18:15 ワールド・カフェ

◆◆ テーマ まちの駅について語り合おう ◆◆

詳細は14頁参照

交流会

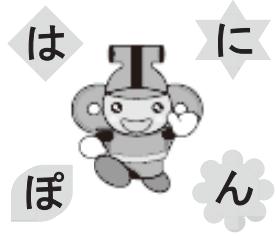
【会場：埼玉グランドホテル本庄】

18:45～ 交流会

～2日目～

11/1 (土)

エクスカーション



(は)・(に) コース 9:00～

「は・コース」～本庄市内のまちの駅を自転車で散策

このコースは自転車での散策となります。運転にご注意ください。
雨天の場合は「に・コース」に変更となります。

集合場所：本庄駅南口（グランドホテル正面口右、斜めまえ）

推薦訪問まちの駅

9:00	集合	地図 No. 10 「石舞台の駅」 地図 No. 16 「御大師様が立ち寄られる駅」
9:00～9:20	注意説明	地図 No. 18 「香りと遊ぶ駅」
9:20～12:30	自由散策	地図 No. 12 「植木の森の駅」 地図 No. 44 「ホッと人駅」
12:30～13:00	自転車返却	地図 No. 27 「自家焙煎コーヒーの駅」
13:00～14:00	昼食	地図 No. 42 「ふる里の味の駅」 地図 No. 54 「とうふの駅」
14:00～	解散	他、本庄市を探索して下さい。

「に・コース」～町並み散策と七福神めぐり

このコースは徒歩での散策となります。

集合場所：本庄駅インフォメーションセンター・多目的ホール

9:00	集合
9:00～9:30	コース説明
9:30～12:30	レンタサイクルの駅→大正院 ^① →円心寺 ^② →開善寺 ^③ →石舞台の駅 →小笠原信嶺の墓→諸井家住宅→慈恩寺 ^④ →田村本陣の門→ 歴史民俗資料館→御大師様が立ち寄られる駅→普寛靈場 →安養院 ^⑤ →佛母寺 ^⑥ →金鑽神社 ^⑦ →泉林寺 ^⑧ →城立寺 ^⑨
12:30	インフォメーションセンター着
13:00～14:00	昼 食
14:00	解 散

エクスカーション

(ほん) コース 8:30~

「ほ・んコース」～田舎情緒の風景と最新のアイスクリーム工場見学

このコースはバスによる見学です。

集合場所：本庄駅南口 武蔵野銀行 前

8:30	集合
8:50 ~ 9:30	競進社模範蚕室見学
9:45 ~ 11:00	高窓の里・成身院百体觀音堂（さざえ堂）見学
11:10 ~ 12:15	赤城乳業児玉工場見学
12:30 ~ 13:30	昼 食（いなか茶屋きんしょう）
14:00	解散

※本庄早稲田駅で降車も可能です



3. 物産展示販売

北海道から沖縄まで全国各地にあるまちの駅のお店からその地域の特産品を集めまして、物産展示販売を行います。

- ◆ 販売時間：12:00～16:30
- ◆ 場所：本庄市民文化会館 1F ロビー

ランチミーティング 12:00～13:15

まちの駅の皆さんのが集い、昼食を食べながらちょっとしたテーマで気軽なおしゃべりタイムを過ごしましょう。

4. 会場案内図

フォーラム会場

- ・本庄市民文化会館



交流会会場

- ・埼玉グランドホテル本庄



アクセスマップ



■10月31日(金) フォーラム会場

本庄市民文化会館

□10月31日(金) 交流会会場

埼玉グランドホテル本庄

★11月1日(土)

エクスカーション集合場所

インフォメーションセンター (に)

市営駐輪場: 本庄駅南口 (は)

武藏野銀行前 (ぽん)

本庄市民文化会館

■主な交通機関

電車・新幹線… JR高崎線本庄駅 南口より徒歩 20 分

● 上越新幹線本庄早稲田駅より徒歩 15 分

お車で……… 関越自動車道 本庄児玉インターチェンジより 8 分

駐車場 / 311 台収容

■所在地

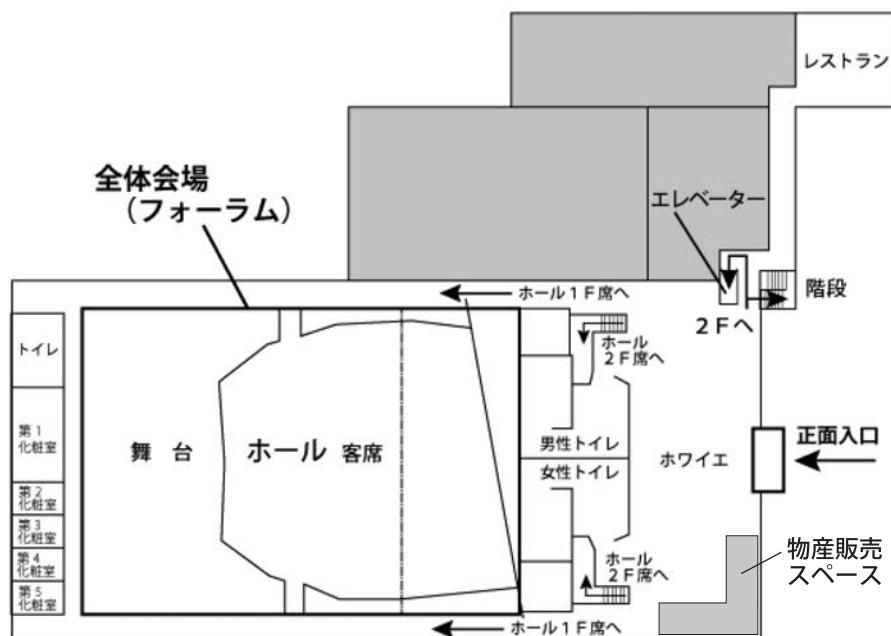
住所 : 〒367-0031 埼玉県本庄市大字北堀 1422 番地 3

電話 : 0495-24-2841 FAX : 0495-24-2842

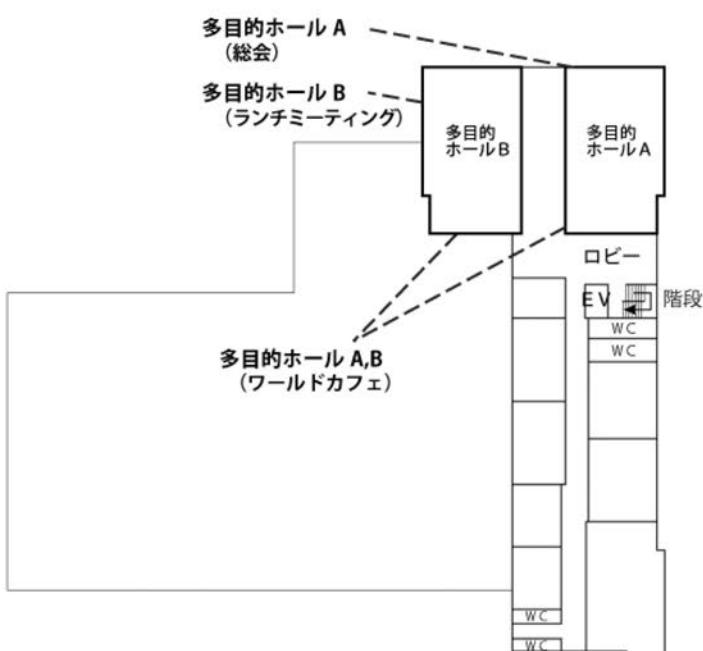
フォーラム会場

本庄市民文化会館 会場図

1階



2階



◆ 「まちの駅一座」公演は、ホールで上演されます。
ホール1階の観客席でご覧いただけます。

◆ 総会、ランチミーティング、ワールド・カフェは、上図の中央右にございますエレベーター又は階段で2階へお上がりください。

5. フォーラム（劇公演）

～本庄まちの駅一座～

・あらまし

全国大会を本庄市で開催するにあたり、私たちが手づくりの劇でまちの駅の使命を演じます。まちの駅とは何ぞや、そしてこれからあるべき姿を皆様に問い合わせます。

この劇を参考にして、皆さん大いに話し合ってください。

・C A S T

* まちの駅一座

ゲスト出演	
吉田信解	市民の役に立つ駅（市長）
真下恵司	情報発信の駅／菊芋の駅
吉崎 光	早稲田大学本庄高等学院
岡戸広奈	〃
吉田桜子	〃
演者	
田中信子	金屋田んぼの駅
黛百合子	朝いちばんの駅
吉岡秀一	石舞台の駅
島田雅行	ひょうたんアートの駅
阪上たつ子	植木の森の駅
富田雅寿	やさしい味の駅
堀口伊代子	止り木の駅
竹並達也	住まいる（スマイル）の駅
黒柳裕司	自家焙煎コーヒーの駅
深町 浩	駅に一番近い駅
立花 熱	ああ、立花の駅
高橋知志	スイーツメルヘンの駅

演者	
相川一浦	情報受発信の駅
武内順子	まちの駅事務局
水上旭岳	算額と癒やしの駅
関根雅美	御大師様が立ち寄られる駅
高橋信介	おもいで駅
江原艶子	良い物件みつけたの駅
高木弘之	こだま桜の駅
飯島秀司	荘の駅
吉田 正	石窯の駅
関根正幸	はにぽんと医やしの駅
根岸初枝	香りと遊ぶ駅
新井牧江	笑顔のあふれる駅
丸槁茉澄	〃
坂本善嗣	地域情報の駅
永尾義一	B O N S A I の駅
阿奈正子	プラス思考の駅
小暮 守	たまり漬一座笑壳の駅

演者	
織茂外美子	クリーニング店勤務
五十嵐つた江	主婦
佐川ナミ子	ビジネスウーマン
清 高尊	鉄工所社長
春日なつ	主婦
安原至彦	悠々自適人
石井敏枝	縫製会社
平賀圭子	自転車店勤務
武政昭代	主婦
根岸啓子	主婦
戸塚ひろみ	塾経営者
川岸暁子	主婦
内山啓子	主婦
久保さち子	果物生産者
倉林光雄	会社員

6. ワールド・カフェ

テーマ

まちの駅について語り合おう

— 前半の「まちの駅一座」の内容を受けてから、2つの部屋に分かれてワールド・カフェ方式で、少人数のグループに分かれ、まちの駅について語りあう時間です。異なる地域や立場の人との対話を通じ、お互いの想いや経験を共有する中で、まちの駅の必要性や可能性を考えましょう。—

講師紹介

ふるせ まさや
古瀬 正也



プロフィール

古瀬ワークショップデザイン事務所

埼玉県生まれ・在住

フリーランスで、参加者主体のイベント、企画、研修、授業、講座、合意形成、市民参加などのワークショップの企画・運営（コーディネート）や司会・進行（ファシリテーター）を行っている。

ワールド・カフェとは

「知識や知恵は、機能的な会議室の中で生まれるのではなく、人々がオープンに会話をを行い、自由にネットワークを築くことのできる『カフェ』のような空間でこそ創発される」という考えに基づいた話し合いの手法です。

- ◆本物のカフェのようにリラックスした雰囲気の中で、テーマに集中した対話を行います。
- ◆自分の意見を否定されず、尊重されるという安全な場で、相手の意見を聞き、つながりを意識しながら自分の意見を伝えることにより生まれる場の一体感を味わえます。
- ◆メンバーの組み合わせを変えながら、4～5人単位の小グループで話し合いを続けることにより、あたかも参加者全員が話し合っているような効果が得られます。
- ◆参加者数は12人から、1,000人以上でも実施可能です。



まちの駅ご協賛

会津まちの駅の事務局、会津地域連携センターさんで昨年度から取り組んでいる会津の新しいブランドづくり事業のご紹介です。



ブランド名は「ハンサムウーマン」。

醤油や酒、和菓子などの食品から、会津塗や会津木綿などの伝統工芸品まで、凛とした会津女性のブランドイメージのもと、「会津のいいもの」を集め、磨き、ようやく全国のまちの駅のみなさんに発表できるようになりました。

<http://www.handsome-woman.com/>

つきましては、ハンサムウーマンブランドを取り扱っていただけるまちの駅を大募集いたします。

【問合せ先】

NPO 法人 会津地域連携センター

〒965-0035 福島県会津若松市馬場町 1-20 ヤマトメビル 2F

TEL : 0242-22-3633 FAX : 0242-22-3644 e-mail : aizu-renkei@bekonon.com



まちの駅ネットワークふくしま

昨年はありがとうございました～！



コラッセふくしま 1F にある、まちの駅ふくしま (ふくしま情報ステーション)

まちの駅ネットワークふくしまは、ふくしま情報ステーションを中心に、福島市内の 13 駅で組織するネットワークです。

まちの駅ふくしま (ふくしま情報ステーション)

清流 荒川資料室駅	古関裕而記念館駅
まちの駅 パセナカ Misse	まちの駅 電工社
パンの駅 まちなか夢工房	まちの駅 ふくサポート
福島ふるフルステーション	まちの駅 おぐら茶屋
空の駅 ふくしまスカイパーク	まちの駅 稲荷屋
まちの駅 大町きたさん	お茶の松北園

まちの駅ネットワーク黒部



まちの駅で黒部を体験中

まちの駅ネットワーク黒部は、富山県黒部市にある生地と三日市を中心としたまちの駅のネットワークで、現在、黒部市内に 48 駅あり、活動しています。

2015 年春に北陸新幹線開業予定で、黒部市に黒部宇奈月温泉駅が誕生します。新幹線の開業に合わせて、来年はまちの駅全国フォーラムも富山で開かれます。来年は黒部にもぜひお立ち寄りください！

ありがとうございました！！

MEMO



7. 前回大会の報告

第16回まちの駅全国大会

まちの駅全国フォーラム in ふくしま

来てみっせ、いいことあっから”ふくしま”へ

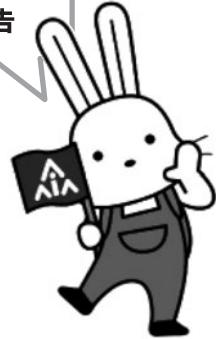
【日時】2013年10月18日（金）～19日（土）【会場】ふくしまテレサ

【主催】まちの駅連絡協議会 【主管】まちの駅全国フォーラム in ふくしま

【共催】福島市、ふくしまNPOネットワークセンター

【後援】観光庁、福島県

大会報告



開催概要

まちの駅は「まちの案内所」「地域の茶飲み場」として、既存の施設・空間（公共施設、民間商店等）を自発的に開放する活動で、平成10年からスタートしました。“駅”的なネットワークにより、地域全体の魅力を高めていこうという、官公民が一体となった取り組みとして、全国1600カ所以上で取り組まれています。

今回のフォーラムでは、まちの駅の基本である「おもてなし」と「つながり」を考えるとともに、具体的なテーマとして、現在取り組みを推進している「防災」「観光」「物産」交流について考える場を設けました。キャッチフレーズは「来てみっせ、いいことあっから”ふくしま”へ」、地元はもちろん、全国の方々に福島の現状を知っていただく機会となりました。

● 1日目 10月18日（金）

全体会、グループ討議、交流会 ※敬称略

13:00～13:40 まちの駅連絡協議会 総会

14:00～14:15 開会・挨拶

14:15～15:15 基調講演

「つながることの大切さを考える」

講師：枝元なほみ（料理研究家・

一般社団法人チームむかご代表理事）

15:40～17:00 グループ討議

①まちの駅講座「まちの駅の可能性を考えよう」

②まちの駅と「防災」交流を考えよう

③まちの駅と「観光」交流を考えよう

④まちの駅と「もの」交流を考えよう

18:00～19:00 交流会 街なか広場

● 2日目 19日（土） エクスカーション

①福島市内の「まちの駅」巡り

②八重のふるさと・会津「まちの駅」巡り

③東日本大震災から約2半年が経過した南相馬市巡り

全体会① 挨拶

会長挨拶 久住 時男（まちの駅連絡協議会 会長・新潟県見附市長）

こんにちは、みなさん。

ようこそ、この思いの深い福島にお集まりいただき、心から感謝申し上げます。この地でまちの駅全国フォーラムが開かれることは、大きな意味があります。各地で、その地域を心から愛し、その地域が元気になるように活躍されているまちの駅の仲間が、全国から福島の地に一堂に会したことを、大変うれしく思います。



まちの駅は北海道から沖縄まで、全国で56の地域ネットワーク、1650駅になるということです。昨年、沖縄では50駅でネットワークがスタートしたということで、九州沖縄大会にも参加いたしました。1年間で25駅増えて75駅になったそうです。また、東京でも寅さんでおなじみの葛飾区柴又や、墨田区のスカイツリーのそばにもまちの駅が出来ています。15年かかりましたが、本当に日本各地を網羅する組織になってきました。しかも、行政に頼らない組織として。これは、総務省の方によると、たいへん珍しい組織だそうです。皆さんの活動のネットワークが評価されているということでしょう。昨年度の「東北観光博」の「旅の駅」の原点もまちの駅であります。私どもが作り上げてきたものが、いよいよ実を付け始めた。これから皆さんの力を借りて、この国をもっと良くしようという段階になってきたのだと思うと思います。

そのことをもう一度再確認しつつ、今日と明日の2日間、皆さんのがいろいろな知恵をまとめて、そして各地域での新たな元気づくりにつなげて頂ければありがたいと思っております。

今回開催に当たり、努力された地元の皆さん、実行委員会の方々に改めてお礼を申し上げます。また、福島県や福島市にもご協力いただき、感謝申し上げてご挨拶とさせていただきます。

今日、明日と一所懸命に感動しましょう、楽しみましょう！

開会宣言

作田謙太郎（実行委員長）



「うつくしまふくしまへ」、
全国のまちの駅の皆さま、
ようこそお越しいただきま
した。

私は今日ここへお越しの
まちの駅の仲間のまちをた
くさん訪問しました。それ
は、震災後の福島を応援し
ていただくためです。行き場の失った地元の農作物や產品
を快く買っていただいて、たくさんの温かい気持ちをいた
だきました。この全国フォーラムは、頑張っているこの地
域を見ていただきたい、ここで生きていく福島の人々の今
の姿を見ていただきたい、そんな恩返しの気持ちでいっぱい
です。

どうぞ、存分に福島を楽しんでいってください。そして、
それぞれの地域に帰りまして、福島の元気な姿をお伝えい
ただけたら幸いです。

それでは、まちの駅全国フォーラム in ふくしまを開会い
たします。

来賓挨拶

福島市長

（商工観光部部長 山内芳夫氏 代読）

皆様、全国からようこそ福島へ
おいでいただきました。心より歓
迎を申し上げます。全国大会が福
島市で開催され、多くの皆様にご
参加いただき、厚くお礼申しあげ
ます。また、震災以降全国の皆様
から多大なるご支援や心温まる励
ましをいただき、改めてお礼を申し上げます。



本市は「花もみもある福島市」を観光キャッチフレーズ
に、数々の花の名所を中心に豊かな自然を生かして、訪れる
方々に喜んでいただけるようなまちづくりを進めています。
また、「いで湯とくだものの里」として、全国でも
有数の果物の産地として知られ、いで湯である飯坂、土湯、
高湯の三つの温泉地を有しています。さらに、震災以降、
希望ある復興を目指しながら、本年6月に実施した東北六

魂祭やさまざまな復興イベントを開催するなど、風評被
を払拭し、元気な福島を全国に向けて発信しているところ
です。

さて、地域情報を提供し、休憩所としての機能も備えた
まちの駅は地域住民、あるいは来訪者の交流の場として極
めて重要な役割を果たしています。福島市では2012年度
にまちの駅ネットワークが発足し、13の駅が連携して地域
交流の拠点となり、活動を行っています。今回のフォーラ
ムでは全国の皆様に福島の現状をご覧いただくとともに、
まちの駅が果たすべき役割について、ともにお考えいただき、
本日交わされた議論をもとに今後の取り組みの一層の
推進につなげていただければと期待しています。

福島県知事

（観光交流局局長 五十嵐照憲氏 代読）

本日、全国フォーラムがここ
福島県福島市において、全国各
地の皆様のご参加により盛大
に開催されますことを心から
お喜び申し上げます。大震災か
ら2年7か月が経過いたしま
したが。この間、県内外の皆様
の多大なるご支援をいただき、福島県は着実に元気を取り
戻してまいりました。この場をお借りして厚くお礼を申し
上げます。本当にありがとうございました。



本県はひとりひとりが復興に向かって歩み始めよう。そし
て、ふくしまから新たな流れを創っていくという未来への
意思を込めたスローガン「ふくしまから はじめよう。」
のもと、新生福島への道筋を着実に歩み始めております。

今大会はまちの駅の基本である「おもてなし」、「つながり」
を考えるとともに、防災、観光などによる連携交流に
ついて考える場として開催されると伺っております。今大会開
催をきっかけに、福島と全国各地のまちの駅関係者との
交流が一層深まることを期待しています。

福島は歴史や伝統文化、温泉、豊かでおいしい食、金賞
を受賞した数多くの日本酒、さらには人情味あふれる県民性など、多くの宝にあふれています。皆さんにはこの機
会に、これらの魅力を見て、触れて、感じていただき、お
帰りになられてからご家族やご友人にご紹介いただいて、
福島との交流をさらに深めて頂ければ幸いです。



枝元なほみ(料理研究家・チームむかご代表)

震災の後、福島のことを持つて考えてきました。自分に何ができるだろうと。今日はまちの駅のフォーラムということで、「つながる」ことをお話しします。

<ブドウの一粒ずつ>

福島では、ちょうど桃からブドウに収穫が移っていますね。すごく感動した言葉があります。電線を通して電気を遠く離れたところ

まで運ぶと、その間にたくさんのロスが出ます。だから、中心から遠くへ運ぶのではなくて、ちょうどブドウの房のように、一粒ずつが元気になって、その中で自立、自足していくことが、国のイメージだという言葉でした。小さいブドウの一粒がそれぞれの地域なんだ、と考えるようになりました。

駅って、すごくいい言葉だと思います。駅とは帰つて来るところでもあり、出かけるところでもあり、人と人がすれ違うところ、出会うところでもあると思うのです。駅があるっていいな。駅という言葉が、道とか、街とか、人が生きてすれ違う場所だと、思うようになりました。そして、小さいブドウの一粒の中にある種が「駅」なのだ、まちの真ん中にあるブドウの種が「まちの駅」なのだと思います。

<美味しいもので、ニコニコに>

美味しいものってなんだろうと考えた時に、すごい駆走ではなくて、人が生きていく上での支えになる食べ物が「おいしいもの」「ごちそう」と考えるようになりました。皆さんにお聞きします。死ぬ前に食べたいものは何ですか?…スイカ、味噌おにぎり、ご飯とお新香、水、福島の桃。

豪華な料理は2日で飽きると思います。本当に美味しいと思えるのは、身体が欲している時、自分が必要だと思う時なんです。何が食べたいかを考えることが、すごく大事だと思います。3.11の後、私たちは改めて「何のために生きていくのか」という、生きることの重みを考え直したような気がします。元気になるために、経済が語られることが多いのですが、そうじゃない。経済を元気にすれば自分も元気になる訳ではないことを、ようやく私達は気付いたんだと思います。日本料理は世界中で大人気です。しかし、日本食の神髄は家庭料理にあると思っています。

お金があっても幸せではない。3.11で、私たちは水を心配し、食べ物を心配し、作物を心配した。そういう中で、本当に大事なもの、守るべきものを再認識したのではないでしょうか。

<食べることは生きること>

世界で一番固い食べ物が日本にあります。さて、何でしょう?…鰹節、スルメ。正解は鰹節です。

何年も保つ食品を、生きた魚から作ったのが日本人の祖先です。削って湯に入れれば、すぐにだしが取れる。鰹節は無添加のインスタント食品なんですね。

高度成長期の前、日本は偉大な農業国でした。おおらかな国民性、まじめで、穏やかで、頑張り屋で、几帳面で、すごく褒められていました。それが、豊かになるという現象の中で、農業、食べ物を作ることがお金儲けにならないことと考えるようになりました。

TPPで心配なのは、日本の食べ物を作ってくれる人がいなくなるんじゃないのかということ。輸入すればいいと思うかもしれないけど、いつまでも食べ物を輸入できると言つてはいられないのが、今の世界情勢です。本当の豊かさとか、本当に大事なことは、ちゃんとした食べ物を作れて、食べられるということだと思います。

もう1つの心配は、遺伝子組み換え食品が入ってくること。品種の改良と違い、自然界では絶対に起こらないものを科学的に作るのが遺伝子組み換えなんです。

食べることは生きることと同じです。プライドを持って自足する地域が、地方があることが大事です。誰が作ったのかを教えてもらえる、安心して買える、そういう所に行きたいと思いました。

<にこまるクッキー>

震災後、怖くてどうすれば良いか分かりませんでした。被災地で食べ物を待っている人がいるので、クッキーを作ることにしました。手を使って、食べ物を作ることで落ち着きました。8週間、クッキーを作っていましたが、いろいろな被災地に送りました。

2011年5月、会津美里町で避難している子どもやお母さんたちと一緒にクッキーを作りました。一つずつ丸めて顔を付ける。自分で作ることで笑顔が生まれました。人の手が介在して、人と人がつながっていく。これから価値観を変えたいと思いました。

工場製品の方が衛生的で安くて素晴らしいと思ってきましたが、このままでは食べるものが作れなくなってしまう。今の日本、大量に作って、大量に廃棄しています。それって、怖くないですか?

<つながることで変わっていく>

もう一度価値観を直接伝えることで、「まちの駅」みたいに人がつながっていき、一人ずつの粒が元気になっていくと思います。価値観を変えることで、新しい未来を作っていくと思っています。買い物をすることは投票することと同じです。自分が何を選ぶかが重要です。それが自己表現であり、未来を作っていくことなのです。価値観を変えて、つながることを大事にすることで、今から変わっていけると思っています。

ありがとうございました。

枝元なほみ(料理研究家・チームむかご代表)

神奈川県横浜市生まれの料理研究家。1981年劇団転形劇場の研究生になり、役者をしながら無国籍レストランで8年働く。劇団解散後、フリーの料理人になる。

<話題提供者>

橋本 正法（まちの駅連絡協議会 事務局）
 福地 雅人（まちの駅ネットワークふくしま 代表）
 佐藤 永子（まちの駅ネットワークかぬま 事務局）

事例紹介①「まちの駅の歩み」

●20年前に行った道の駅の社会実験が成果を収め、幹線国道沿いの溜り場として国の制度になったが、国道を持たない町の首長が、道の駅的な施設を作りたいと言つたことから、「まちの駅」の実現につながった。当初は公共施設中心の活動であったが、民間施設の参加、ネットワーク化など、現場における実践活動の積み重ねの中で今の考え方へ至った。

●人が集まる中で、いろいろな知恵が湧いてくる。「我が地域には観光資源がない」と言うが、魅力はあるはず。たくさん集めれば魅力は向上する。まちの駅は、金を生み出すことがなくとも、知恵と元気の交換によって、いろいろな活動を生み出す場になっている。

事例紹介②「福島市の取り組み」

●福島市のまちの駅は、福島情報ステーションが登録していたが、平成23年からネットワーク化を図っている。現在は13駅でネットワーク。被災地支援で会費免除になったことも、参加者を増やす結果となった。

●「パセナカ Misse」は、震災前の平成23年2月にオープンした3階建てのテナントミックスビルで、平成24年8月にまちの駅として登録した。地域のイベントチラシを置いたり、壁にポスターを貼ったりして情報を発信している。身障者用トイレの利用も多い。「こでらんに博」のスタンプラリー等の拠点にもなっている。

事例紹介③「鹿沼市の取り組み」

●平成17年の「まちなか創造“夢”プラン」の企画として取り組みが始まった。市が公募したところ、70駅が応募したので、「まちの駅ネットワークかぬま」を発足した。その後も毎年募集を行い、これまでに115団体が認定を受けたが、事情により辞めるところもあり、現在は92駅。市町村単位では全国最多の設置を誇っている。

●マップの作成、スタンプラリーやまちの駅まつりの開催、県内のまちの駅との交流事業、駅長研修等を行っている。平成23年には、キーステーションとして「まちの駅“新・鹿沼宿”」がオープン。行政は後方支援であり、自主活動をみんなで楽しく行っている。

●課題は、数が多いことで他人任せの傾向や駅ごとの温度差が出ていること、全体への情報伝達が大変なこと等。また、会議での意見集約が難しい面があり、ブロックごとの代表者会議を行っている。

グループ討議「まちの駅の可能性を考えよう」

※先輩後輩ごちゃまぜのグループ談義。たくさんのキーワードが出ました。

まちの駅巡り／まちの駅講座／異業種によるバリエーション／入退会自由／おもてなしと思いやり／町なか茶の間／「ばか」と言われて8年／ひとりは非力・仲間づくり／事業部会・交流部会／ファンクラブ／自立化／きっかけづくり



<話題提供者>

久住 時男（新潟県見附市長）
 丹治 裕之（空の駅 ふくしまスカイパーク 駅長）
 高橋 秀一（NPO 法人 市民協働ネットワーク長岡）
 ファシリテーター：内山 愛美（まちの駅ふくサポ駅長）

事例紹介①「水害・中越地震でのネーブルみつけ」

●見附市は10年間に激甚災害が3回。最初の水害では早めの避難勧告等で死者ゼロだったが、大量の救援物資、ボランティアが来た。普通の市の施設、設備ではとても受けられないが、完成して10日目のネーブルみつけが役に立った。行政の窓口と、物資の受け入れとボランティアの受け入れが同じ場所でできた。

●中越地震でも、協働の場として役に立った。まちの駅長は、災害時の情報提供、お世話という点でも「交代しない」「場所がある」ので共助の要になると思う。

事例紹介②「東日本大震災でのふくしまスカイパーク」

●スカイパークは福島市の施設。前は農道空港で、今は小型機訓練、イベント等も行う航空公園。3.11では自衛隊から発着場にしたいという要請があったが、連絡不足でできなかった。その後、福島空港が一杯で使えないため、メディアのヘリや物資の宮城県への中継基地として利用された。5月頃から南相馬への発着も増えた。

●福島に多くの物資がきたのを預かって、就業時間後に、福島市内の2箇所の避難所に運んだ。震災での課題は情報伝達。電話、ネットが停電で使えないで情報をうまく伝えられず、物資があることも共有できなかった。

事例紹介③「被災者支援事業 心のくつした便」

●くつした便は、最初、中越地震の時に行つた。1ヶ月後の物資もライフラインも安定し始めた頃に、地域交流センターの人からできることがないかと聞かれ、「山古志からの来ている方々が希望を失いそう。元気になるメッセージ等がいい」と話した所から始まった。プレゼントはまちの駅ネットワークで集めた、おこづかい程度のもの。

●成果は受け入れの長岡のまちの駅ネットワークも一体になれたこと。送ることが目的でなく、つながることが大事。今後、一般の人にも広がるといい。

グループ討議「まちの駅と防災交流」

●防災は災害が起きる前に。福島市では3.11の時情報が不足した。情報源の選択肢を増やすべき。行政と住民の協働のまちづくりが必要。

●まちの駅を知る、知つてもらうことが大事。普段の活動以外にも、コンサートを開くなど、地域の人、まちの駅同士が交流することが大事。あそこにいけば何かがあるという存在になるべし。

●まちの駅も団体として防災訓練に参加して、行政より身近なところにあるからこそ、頼れる存在になるべし。

●駅長のもつ普段のネットワークをまちの駅に繋げよう！

※最後に全体会で内山さんから次の報告がされた。

●駅長が地域に関心をもち、防災に関心をもち、いざという時に頼れる存在になろう！

●まちの駅を地域の安心スポットにしよう！



グループ討議③ まちの駅と「観光」交流を考えよう

<話題提供・パネリスト>

藤澤義人（国土交通省 東北運輸局 観光地域振興課 課長）

猪狩知治（福島市観光コンベンション協会 事務局長）

稻生孝之（会津地域連携センター 理事長）

辻 貴弘（まちの駅獅子の里つるぎ）

ファシリテーター：磯部健一（まちの駅福島ふるフルステーション）

ミニミニシンポジウム「ふくしま観光の現状と交流連携による新しい日本の観光」

●「東北観光博とこれからの観光施策」東北観光博の旅の駅は、まちの駅をモデルにつくられました。

●「ふくしまの観光の現状」ふくしまではまち歩きを推進しています。

●「まちの駅ネットワークによる「おもてなし観光地域づくり・会津モデル」について」広い会津でまちの駅ネットワークにより一体感のある観光振興を進めています。

●「石川県白山市鶴来でのまちの駅ネットワークを活かした活動」スタンプラリーなどまち歩きを成功させるには秘訣があります。ぜひ鶴来に見に来てください！

グループディスカッション

各グループで「テーマⅠ．まちの駅連携によるふくしま・東北観光の支え方」「テーマⅡ．まちの駅ネットワークを活かした夢のある観光地域づくりのアイデア」について、短い時間で考えていただきました。

【グループ①】福島市では休日に観光客が集中し、平日は店を閉めているところが多い。福島3地域の連携が必要。尾鷲まちの駅のような地域密着型の観光を各地で。

【グループ②】観光客が利用できないスタンプラリーが多い。福島市のマップにはまちの駅は載っていない。まずはまちの駅の認知度を高めること。

【グループ③】風評被害払しょくのためには正しい情報を伝えることが重要。まちの駅の顔の見えるネットワークを活かすことで、正しい情報の発信ができる。

【グループ④】まちの駅ネットワークを活かすためには、個々のまちの駅を活かすことと、行政など様々な主体との連携による仕掛けが必要。

【グループ⑤】ポイントは商店をつなぐこと。自分たちがやりたいことを有志のまちの駅が主体となりやっていく。まちを生き活性させるのがまちの駅。

【グループ⑥】スタンプラリーやまちナビカードなど、やりつくした感がある。まちの駅ネットワークを活かすためには、「人」「ネットワーク」「ブランド力」を強化！

【グループ⑦】まちの駅観光のキーワードは「地域の結びつき」「点を線にする」「安心」「あたたかさ」「情報発信」など。ツールとして有効なのは「のぼり旗」。

【グループ⑧】まちの駅ネットワーク同士でお互いの地域で案内さんのスキルアップ研修を！お互いの地域のいいところを見つける。

総括コメント 藤田真一さん（ばとうまちの驛）

●自分で地域の魅力を発掘して自分で発信することが大切。

●まちの駅の旗が全国に広がることでまちの駅の認知度も上がる。



グループ討議④ まちの駅と「もの」交流を考えよう

<話題提供者>

河井達志（鹿児島県まちの駅連絡協議会事務局長）

渡辺匡（福島市商店街連合会 相談役）

赤崎隆三郎（沖縄まちの駅連絡協議会事務局長）

小沼一夫（太陽漆器）

ファシリテーター：齋藤巧（まちなか夢工房店長）

まちの駅の物産販売とは

●まちの駅同士のつながりを利用して「もの」の交流を具体化したい。

●キーワードは3つ

①安全安心であること、

②人と人のつながりによって生み出される信用、

③正確な情報提供。

●少量多品種の販売じゃないとできない。

●利益、在庫をどうするか、品特性をどうするか、物流の研究も必要。

まちの駅に必要な情報とは

●まちの駅がどういう情報を提供するかは様々である。タイムリーな情報をどうやって提供するかが重要。

・駅長会議を頻繁に行い、情報交換を頻繁におこなう。

・BtoBの繋がりを作るための情報整備が必要。

・各まちの駅の業種（販売、卸、行政等）が分かる名簿を整備する。

・全国大会でも名札に工夫して、相手の業種が分かるようにする。

●意識の高い駅同士が連絡し合えば、直ぐに実現できるはず。

まちの駅の商品とは

●必要とされているのはコミュニティ、コミュニケーションの場であり、モノ売りを優先するとダメ。物語を作ろう。

●価格競争やモノ売りでは大手に勝てない。大手に出来ない事をやるべき。ヒトとヒトは繋がるので、モノとモノを繋げよう。楽しく「まちの駅」をやろう。

まちの駅による被災地支援

●遠隔地ほど情報が無い。継続して情報発信をすることが大事。

●地域の名品を掘り下げてカタログ化する。送料なども分かりやすくする。

●少量で他地域に送れる仕組み作り（アソートセットなど）

●支援ではなく、ビジネスを成立させるものを構築すること。

まとめ

●まちの駅とは 21世紀のアゴラ

●まちの駅は嘘をつかない

●来年の全国大会には、ウチにはこんなものがあるよというものを持ってくる

●やれることはすぐにやる



交流会



福島駅東口の「街なか広場」にて、18時から星空の下で交流会が行われました。



威勢よく鏡開きで交流会がスター



地元ふくしまや鹿児島等から物産販売の出店をしていただきました。



交流会の参加者同士が集まって話に花が咲きました。



メイン料理は地元食材を使ってのバーベキュー！



山木屋太鼓のみなさんによる演奏で会場全体が盛りあがりました！



地元で活躍のお笑い芸人ポンガーズによる司会で、各地まちの駅メンバーからひと言。



大会副実行委員長より締めのご挨拶をいただき、無事に閉幕。

お集まりいただき、ありがとうございました！

エクスカーション

【福島市内の「まちの駅」巡り】

平成 23 年度に立ち上がった福島市内のまちの駅を巡りました。

●コース

福島情報ステーション → 古関裕而記念館 → 御倉邸・おぐら茶屋 → 四季の里／アサヒビール園 → 荒川資料室 → 手作りジェラート店「honey bee」 → 福島駅西口



【八重のふるさと・会津「まちの駅」巡り】

NHK 大河ドラマ「八重の桜」でも話題の会津のまちの駅を巡りました。

●コース

コラッセふくしま → 会津藩校日新館 → まちの駅白虎隊（会津とらぞう）／飯盛山 → あいづ広域観光情報センター「i らんしょ。」 → 割烹の駅（萬花樓） → 大河ドラマ館 → 酒造の駅（会津酒造歴史館） → まちの駅鶴ヶ城（鶴ヶ城会館） → 会津若松駅／郡山駅



【東日本大震災から約 2 年半が経過した南相馬市巡り】

南相馬のまちの駅を中心に、津波や原発事故の被災地を視察し、復興に向けて様々な取り組みを始めている現状を視察しました。

●コース

コラッセふくしま → 南相馬（南相馬市博物館） → 小高の街なか → 小高へはらまち沿岸 → 南相馬市ソーラーアグリパーク → 道の駅南相馬 → 福島駅



【新聞記事】

全国各地のまちの駅の運営関係者らが集う「まちの駅全国フォーラム㏌ふくしま」は18日、福島市で開かれ、まちの駅活動の向上に向け情報交換した。まち

の駅連絡協議会の主催。
まちの駅は、トイレや休憩場所、地域を紹介するパンフレットなどを設置して
いる施設や店舗。
本県をはじめ全国各地か

卷之三

まちの駅活動向上

ら関係者約200人が参加した。まちの駅が今後、観光や防災面で果たす役割などを意見交換しながら探った。また、料理研究家の枝元なほみさんが「つながることの大切さを考える」をテーマに基調講演した。

(27) 8版★ 2013年(平成25年)10月19日(土曜日) 福

「まちの駅」の役割模索
きょうまで全国フォーラム

福島 駐運転者や観光客の憩いの場「まちの駅」の関係者が集う「まちの駅全国フォーラム in ふくしま」は十八、十九の両日、福島市で開かれ、東日本大震災からの復興支援に向けた、「まちの駅が果たすべき役割について意見を交わしている。

まちの駅連絡協議会の主催、実行委員会の主導。同市の開催は初めてで、約二百人が参加している。

初日は福島テルサで料理研究家の枝元なほみさんが「私の考える被災者支援と地域活性化」と題して講演した。東京電力福島第一原発事故で気付かされた食文化」と題して講演した。

「防災」「観光」「物産」をテーマにグループ討議を行い、駅のネットワークの生かし方をめぐり意見交換した。

市内のまちなか広場に会場を移し、円盤駒子など特産品を味わいながら懇談した。

十九日は三班に分かれ、同市や会津若松市の観光地、津波被害に遭った南相馬市の沿岸部などを視察する。



食のありがたみについて話す枝元さん

↑ 2013年10月19日(土)福島民報さま

←2013年10月19日(土)福島民友さま

【ご協賛いただいたみなさま】

まちの駅ネットワークかぬまさま（2口）

NPO法人会津地域連携センター（会津まちの駅）さま（2口）

空の駅ふくしまスカイパーク さま

曹洞宗 福聚禪院 さま

(特非) まちの駅 ネットワーク 本庄 さま

ふれあいいきいきオリオンビール（株）名護工場 さま

手作りますの寿司 老舗（有）味の笹義さま

アサヒビール株式会社 福島支社 さま



P

認定 NPO 法人
ふくしま NPO
ネットワークセンター

私たち、NPO・市民活動団体の支援を目的に活動をすすめています。

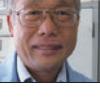
〒960-8034 福島市置賜町1-29 佐平ビル8F
電話 024-528-1211 / ファックス 024-528-1218
メール center@f-npo.jp
ホームページ <http://www.f-npo.jp>

まちの駅ふくサポ・まちの駅ふくしま情報ステーション



本庄の駅長さん

駅長の
一言コメント

1		ああ、立花の駅 尺上庵 ●Tel.0495-72-1373 本庄市児玉町小平818-1	《取扱の商品・サービス》 魚類剥製加工・盆栽	とっても良い音色を奏でる水琴窟があります。是非聞いて下さい。
2		明るく楽しく元気な駅 栄養俱楽部 本庄 ●Tel.0495-23-3486 本庄市緑1-5-4	《取扱の商品・サービス》 健康ジュース、ハーブティー、半身浴サウナ	美味しいハーブティーで、是非リラックスして下さい。
3		朝いちばん早い駅 パンとお菓子の店 マロン ●Tel.0495-72-1258 本庄市児玉町児玉172-2	《取扱の商品・サービス》 パン・焼菓子・ケーキ等の製造・販売	おすすめは、その場で作るコッペパンの付食やサンドイッチです!
4		味どうらくの駅 味どうらく 長 ●Tel.0495-21-1863 本庄市駅南2-26-7	《取扱の商品・サービス》 お食事、ご宴会、ご法事など	お1人様ご家族づれお気軽にご利用下さい。ランチタイムはコーヒー付です。
5		味な駅 味処 鳥よし ●Tel.0495-22-4941 本庄市寿3-3-17	《取扱の商品・サービス》 お食事、大・小宴会・法事など	広いお座敷で、ごゆっくりおくつろぎ下さい。
6		安全と安心の駅 ほけんプラザAZ(アズ) ●Tel.0495-72-0169 本庄市児玉町児玉140	《取扱の商品・サービス》 各種保険	誠実な仕事を目指します。
7		イイこと、プラスの駅 ユニー(株)アピタ本庄店 ●Tel.0495-24-7311 本庄市南一丁目2-10	《取扱の商品・サービス》 総合小売業	「イイこと、プラス」を是非、アピタで発見して下さい。
8		良い物件みつけたの駅 日新ハウジング株式会社 ●Tel.0495-72-3933 本庄市児玉町八幡山171	《取扱の商品・サービス》 アパート賃貸・管理 不動産売買・仲介	駐車場が広いので、案内、休憩等にお気軽に立ち寄り下さい。
9		石窯の駅 宿泊体験ハウス ソレイユ ●Tel.0495-72-0128 本庄市児玉町秋山2733	《取扱の商品・サービス》 ハイブリッドソーラーハウス・天然木の郷の家・ピザ教室	歩き疲れたらウッドデッキでお気軽にひと休みして下さいね。
10		石舞台の駅 (有)石の吉岡 ●Tel.0495-22-3229 本庄市中央1-4-16	《取扱の商品・サービス》 墓石・彫刻品	ミッキーマウス、ドラエモンの石像、巨大な石臼が皆様のご来店を待ってるよ。
11		癒し絵の駅 (株)アトリエ・ハルマン ●Tel.0495-72-6281 本庄市児玉町金屋931-1	《取扱の商品・サービス》 絵画制作販売・絵画教室・演劇教室	笑顔と美味しいお茶と音楽と、愛らしい癒し絵がお待ちしています。
12		植木の森の駅 (株)清香園 ●Tel.0495-22-3414 本庄市朝日町3-22-4	《取扱の商品・サービス》 樹木	あづま屋にお茶の用意があります。出入り自由ですのでお気軽に!
13		駅に一番近い駅 埼玉グランドホテル本庄 ●Tel.0495-21-2111 本庄市駅南2-2-1	《取扱の商品・サービス》 ホテル業	美味ケーキとコーヒーでちょっと一息中国料理のランチもありますよ。
14		おもいでの駅 さいたまセレモニーホール本庄 ●Tel.0495-21-4444 本庄市小島南1-5-9	《取扱の商品・サービス》 葬儀・法事・生花・花壇・仏壇・墓石等 仏事全般	喫茶ラウンジは毎日無料開放。コーヒー、ジュースご自由にどうぞ。
15		お休み処 七福神の駅 (有)岩上運輸 ●Tel.0495-22-3739 本庄市東台1-4-43	《取扱の商品・サービス》 運送業・引越業	地理が不案内の方も詳細な地図にてお教えできます。

本庄の駅長さん

16	 <p>御大師様が立ち寄られる駅</p> <p>(有)御菓子司 せきね ●Tel.0495-22-2315 本庄市中央3-3-41</p>	《取扱の商品・サービス》 主に和菓子(最中・栗羊羹・万頭・だんご・どら焼 等)	天皇・皇后両陛下も召し上がられた 『武州栗羊羹』 がお薦めです。
17	 <p>快適環境創造の駅</p> <p>(株)渋沢 ●Tel.0495-21-2100 本庄市若泉3-2-7</p>	《取扱の商品・サービス》 売買マンション・無添加住宅	お立ち寄りはお気軽にどうぞ。 モデルルームもご覧学できます。
18	 <p>香りと遊ぶ駅</p> <p>お仏壇の根岸 ●Tel.0495-22-2590 本庄市銀座2-3-11</p>	《取扱の商品・サービス》 仏壇・仏具・線香・お香・ローソク	日替りでお香を炷いています。 お気軽にどうぞ。
19	 <p>金屋田んぼの駅</p> <p>いなか茶屋 きんしょう ●Tel.0495-72-5520 本庄市児玉町田端190-2</p>	《取扱の商品・サービス》 句菜籠盛膳・みつこ膳・彩のモロコ	田んぼの中で四季を感じ緑に囲まれ ゆっくりとした時間を過ごし下さい。
20	 <p>菊芋の駅</p> <p>(株)菊芋 ●Tel.0495-21-0186 本庄市東台2-6-39</p>	《取扱の商品・サービス》 菊芋パウダー(2.5g×30包)	試飲もできます。 お気軽に立ち寄り下さい。
21	 <p>キジの森の駅</p> <p>こだまゴルフクラブ ●Tel.0495-72-5151 本庄市児玉町入浅見1060</p>	《取扱の商品・サービス》 ゴルフ場	「雉の会」という友の会がございます。 色々な特典がありますので、 是非ご加入ください。
22	 <p>木になる駅</p> <p>(株)横尾材木店 ●Tel.0495-22-1001 本庄市けや木3-23-12</p>	《取扱の商品・サービス》 新築分譲、不動産売買	トイレ休憩・一息がてら、 是非、店内をご覧くださいませ!
23	 <p>健康の駅 つきみ荘</p> <p>NPOワクワクボード ●Tel.0495-22-3696 本庄市沼和田127-1</p>	《取扱の商品・サービス》 カラオケ・ダンス・将棋・老人会宴会・食事等	広いステージと抜群の音響で カラオケ・ダンスを存分にお楽しみ下さい。
24	 <p>研修施設の駅</p> <p>サンデンコミュニケーションプラザ ●Tel.0495-23-1211 本庄市沼和田961</p>	《取扱の商品・サービス》 多目的研修施設(研修・会議・宿泊・懇親会)	光と水のコミュニケーションステージが あなたをお待ちしています。
25	 <p>こだま桜の駅</p> <p>本庄市児玉総合支所 ●Tel.0495-72-1331 本庄市児玉町八幡山368</p>	《取扱の商品・サービス》 市民サービス	お役に立ちます。おいでください。 世界の偉人 堀先生と お待ちしています。
26	 <p>算額と癒しの駅</p> <p>宗教法人 正觀寺 ●Tel.0495-21-4389 本庄市都島864</p>	《取扱の商品・サービス》 温かいお茶と心温まるお話	忙しい貴方お寺は心の休憩所 一時立ち寄り静寂の中、 心と身体を癒しませんか!
27	 <p>自家焙煎コーヒーの駅</p> <p>珈琲工房 KUROYANAGI ●Tel.0495-71-5226 本庄市見福3-3-7</p>	《取扱の商品・サービス》 自家焙煎珈琲と手作りケーキ＆サンドイッチ	スペシャルティコーヒーと手作り ケーキで、ちょっとひと休み。
28	 <p>市民の役にたつ駅</p> <p>本庄市役所 ●Tel.0495-25-1111 本庄市本庄3-5-3</p>	《取扱の商品・サービス》 市民サービス	お気軽に立ち寄り下さい。
29	 <p>情報受発信の駅</p> <p>本庄商工会議所 ●Tel.0495-22-5241 本庄市朝日町3-1-35</p>	《取扱の商品・サービス》 地域情報(イベント・観光・飲食店・土産品等)	豊富な地域情報を用意しています。 お気軽に立ち寄りください。
30	 <p>スイーツメルヘンの駅</p> <p>(株)シェリエ「クールシュベール」「ブローニュ」 ●Tel.0495-73-4530 本庄市児玉町塙谷117-1</p>	《取扱の商品・サービス》 洋菓子。購入者は、コーヒー無料サービス	4月初旬のシェリエでは、 小山川沿の千本桜が圧巻ですよ!

本庄の駅長さん

31		住まいの(スマイル)の駅	《取扱の商品・サービス》 総合建設業	お茶、コーヒーを召し上がりながら、ご休憩なさって下さい。
32		ステンドグラスの駅	《取扱の商品・サービス》 饅頭・和菓子・せんべい・進物品	おいしいお茶と甘味で疲れをいやしていってくださいね。
33		荘の駅	《取扱の商品・サービス》 和菓子、生菓子	気軽にお茶をどうぞ。
34		そばの駅	《取扱の商品・サービス》 そば、うどん	そば打ち体験はやさしく丁寧に指導致します。出張もOK(要予約)
35		たまり漬け一座笑売の駅	《取扱の商品・サービス》 出張公演・ボランティア活動	出張笑売で「お代は見てのお帰り」とし、お値段はお客様任せです。
36		地域情報の駅	《取扱の商品・サービス》 地域情報(イベント、観光等)	隣の旧給水塔が目印です。お気軽に立ち寄り下さい。
37		止り木の駅	《取扱の商品・サービス》 田舎まんじゅう	食事にカラオケも出来ます。お気軽に立ち寄り下さい。
38		24hの駅	《取扱の商品・サービス》 コンビニエンスストア	24時間、365日 みなさまのご来店をお待ちしております。
39		飲兵衛の駅	《取扱の商品・サービス》 酒類	あなたのお好みにあわせてお酒をご提供いたします。
40		はにぽんと医やしの駅	《取扱の商品・サービス》 診療所	リニューアルした建物と広い駐車場でお待ちしております。
41		プラス思考の駅	《取扱の商品・サービス》 企画プロデュース、講演会セミナーの講師、作家	あなたの、アイディアで素敵なそして、おしゃれなスペースに仕上げてください。多まり場です。
42		ふる里の味の駅	《取扱の商品・サービス》 麹・味噌・醤油・お漬物	手造り味噌、麹製品のことなどお気軽に声掛けください。
43		ふれあいの駅 Y.S.P星野店	《取扱の商品・サービス》 酒類、食料品、菓子、本、日用品、たばこ クリーニング、宅急便、郵便、配達 公衆電話、自販機コーナー、トイレ	とにかく寄つてみて下さい。
44		ホッと人駅	《取扱の商品・サービス》 眼鏡・光学器・補聴器・コンタクトレンズ	「一息、入れたいな」 そんなときにはお気軽に立より下さい。
45		本庄駅の駅 (2014年 物故者)	《取扱の商品・サービス》 観光案内および観光推奨土産品の販売	贈り物は、本庄市観光推奨土産品を是非どうぞ!

本庄の駅長さん

46		まちのイエステーション	《取扱の商品・サービス》 不動産売買・賃貸	私が駅長の渋澤です。 若い社員お待ちしてます。 お気軽にお立ちより下さい。
47		まちの駅 のぞみ	《取扱の商品・サービス》 地元のお野菜・特産品	賑わいのあるまち(界隈)づくりを 視点として活動しています。
48		むさしの駅	《取扱の商品・サービス》 お茶・コーヒー	バリアフリーになつております。 お気軽にお立ち寄りください。
49		目と心を結ぶ駅	《取扱の商品・サービス》 補聴器、メガネ、ジュエリー等	目を楽にするメガネ作り
50		物づくり学園駅	《取扱の商品・サービス》 総合ビジネス教育 創作工房アトリエ%	いろんな発見が出来て とても楽しい場所です。
51		山の駅 (2014年 物故者)	《取扱の商品・サービス》 山の案内人	お越しになられる時は ご一報をお願いいたします。
52		レンタサイクルの駅	《取扱の商品・サービス》 自転車販売・修理・レンタサイクル	市内散策の出発点です。 七福神めぐりも自転車で効率良く。
53		やさしい味の駅	《取扱の商品・サービス》 こだわり焼き菓子	「障がい児、者」、健常者、問わず 皆さん「やさしい味の駅」にぜひ 遊びに来てください。
54		とうふの駅	《取扱の商品・サービス》 豆腐・油揚げ・がんもどき	お豆腐を使った離乳食教室を開催中 教室の様子はHP「大豆の粒ログ」をご覧ください。
55		笑顔のあふれる駅	《取扱の商品・サービス》 美容室	当店自慢はシャンプーです! ぜひいらして下さい。
56		健康の駅 五感の里	《取扱の商品・サービス》 認知症対応型共同生活介護運営	認知症でお困りの方、 お気軽にどうぞ
57		ひょうたんアートの駅	《取扱の商品・サービス》 ひょうたん工芸品、ひょうたん絵付体験	家族のおもてなしで お待ちしています。
58		BONSAIの駅	《取扱の商品・サービス》 盆栽・盆栽関連用品・庭園資材・味噌・米・WEBサイト作成管理	盆栽庭園で癒しのひとときを お楽しみください。
59		リハビリの駅	《取扱の商品・サービス》 リハビリ専門の介護施設	お気軽に お立ち寄りください!
60		シルバー＆シルクの駅	《取扱の商品・サービス》 特別養護老人ホーム安誠園・本庄ティーサービスセンター・在宅介護支援センター安誠園	いつも笑顔で やさしい介護を 心掛けています

集まろう、つながろう 本庄へ



まちの駅